

レジメン名称(サイラムザ(d1,15)+アブラキサン(d1,8,15) q4w) 胃癌

ID 患者氏名 様 (性別)

身長 cm 体重 kg 年齢 歳 体表面積 m²

薬剤	投与量	投与日 1 コース 4 週間			
		Day 1	8	15	22
サイラムザ	8 mg/kg	↓		↓	
アブラキサン	100 mg/m ²	↓	↓	↓	

レジメンオーダー以外に必要な処方 Day1, 15 : レスタミン 5 錠 1× 化学療法時 1 回分

注意事項

アルブミン含有のため、血液製剤同意書を取得して下さい。

アブラキサンは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

アブラキサン懸濁液はすみやかに使用し、すぐに使用しない場合は冷蔵庫（2～8℃）で遮光保存し、8 時間以内に使用すること。

サイラムザ初回および 8 週以上あいた時：心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要（詳細は投与方法の項を参照）

サイラムザ：室温保存では調製 4 時間以内に使用、すぐに使用しない場合は冷蔵庫で保存すること

サイラムザには専用フィルター付き輸液セット使用、アブラキサンにはフィルターセットは使用しないこと。

投与方法：1 日目、15 日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セット（フィルターなし）を使用 メインルートプライミングし、点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たし、止める
2	レスタミン(10mg) 5 錠 内服
3	デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、生食 30 mL 5 分以上かけて、 側管にはフィルター付き輸液セット使用 下の側管から投与
4	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V 30 分かけて点滴、下の側管から投与
5	生食 50mL 15 分かけて 下の側管から投与
6	フィルター付き輸液セット使用 サイラムザ mg、生食、全量 250 mL 60 分かけて、下の側管から投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、搔痒感、気分不良、嘔気）
7	生食 100 mL 下の側管から ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄
8	アブラキサン mg、生食（100 mL のボトル） 30 分かけて、ケモセーフロックのルートから投与（液量は投与量により変わるため、ラベルを確認）
9	1 の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄

投与方法：8日目	
1	生食 100mL フィルター付きラインは使用しないこと 。ケモセーフロックの点滴セット（フィルターなし）を使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、生食 50mL 15 分かけて点滴、メインルートから投与
3	生食 100mL ゆっくり、ウォッシュアウト メインルートから（15 分ほど、残りは最後のウォッシュアウトに使用） 終了時、点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たされていること。 終了後、メインルートを止める
4	<u>アブラキサン</u> mg、生食（100 mL のボトル） 30 分かけて、ケモセーフロックのルートから投与（液量は投与量により変わるため、ラベルを確認）
5	3 の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄

出水総合医療センター レジメン管理委員会